

現代版烏山線鉄道唱歌《からすやま篇》

制作 那須烏山市まちづくり研究会市民ワークショップ

- 1 昇る朝日に煌めいて（きらめいて）／旅立ち嬉し（うれし）烏山
アキュムが描く未来地図／踏み出す足も軽やかに
- 2 光と戯る（たわむる）那珂川の／ゆたかな流れ水清く
若鮎躍る水飛沫（みずしぶき）／八溝の裾野やなの歓声（こえ）
- 3 450（しひゃくごじゅう）の季（とき）重ね／名にし負うかな山あげの
見得切る絢爛（みえきるけんらん）舞い姿／常磐津の音（ときわづのね）も晴れやかに
- 4 常春公が祀られし／寿亀山神社の鳥居より
七曲り（ななまがり）経て城跡（しろあと）は／古（いにしえ）の栄え語り継ぐ
- 5 那須家縁の（なすけゆかりの）天性寺／お救い小屋で知られたる
勅額賜る（ちよくがくたまわる）泉溪寺／銀杏（いちよう）の大樹巖か（おごそか）に
- 6 水面彩る（みなもいろどる）橋と橋／姿かたちは違え（たがえ）ども
興野 山あげ 烏山／夢懸け渡す虹のごと
- 7 遺産となりし境橋／3連アーチも麗らか（うららか）に
緑滴る（みどりしたたる）落石の／紅葉（もみじ）の頃はさらに映え
- 8 南に臨む（のぞむ）下境／千年の技（ちとせのわざ）を引き継ぎし
奉書 程村 和紙の里／簀子（すのこ）に躍る夢模様
- 9 峯の上なる国見には／たわわに弾ける（はじける）みかんあり
露地栽培の北限地／雲海の里と知られたり
- 10 電車はほどなく滝駅へ／轟音響く水煙（みずけむり）
大釜小釜龍門は／太平寺にもほど近し
- 11 神長（かなが）の小高い山裾に／木漏れ日ゆれる洞（ほら）ありて
戦車工場あとかたは／平和の尊さ語り継ぐ
- 12 稲穂のうねり大波の／沃野の大地（よくやのだいち）進みゆく
にわかに翳（かげ）りシトンネルは／レールも軋（きし）む急勾配
- 13 小埜を過ぎて荒川の／流れに渡す鉄の橋
那須光隆（なすのみつたか）築城と／伝えし城も偲ばれる
- 14 眺め涼しき荒川の／豊かな恵み物語る
大和久 小河原 十二口／往古の生活（おうこのくらし）夢のまに
- 15 大地の鼓動悠久の／土地に刻みしジオパーク
太古のロマン物語る／クジラの化石見つけたり
- 16 田野倉の里安楽寺／名ある古刹（こさつ）と知られけり
山門 薬師 眺めつつ／やがて向かう（むこう）は鴻野山
- 17 陽炎（かげろう）ゆれる草の群れ／八幡太郎義家の
謂れ（いわれ）もゆかし官衙址（かのがあと）／長者ヶ平雲高し